

市川市 スポーツ振興 基本計画

【概要版】



平成 29 年 3 月
市 川 市

計画の策定趣旨と背景

近年、少子高齢化や情報化の進展、地域社会の空洞化や人間関係の希薄化が進むなど、国内を取り巻く社会環境や価値観が急激に変化している中、スポーツへの期待はますます高まってきています。

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されることが決定し、市民のスポーツに対する関心が高まることが期待され、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会をきっかけにして、スポーツの推進に繋がる施策の展開も急務となるなか、「市川市スポーツ振興基本計画」の見直しを行うものです。

計画の位置づけ

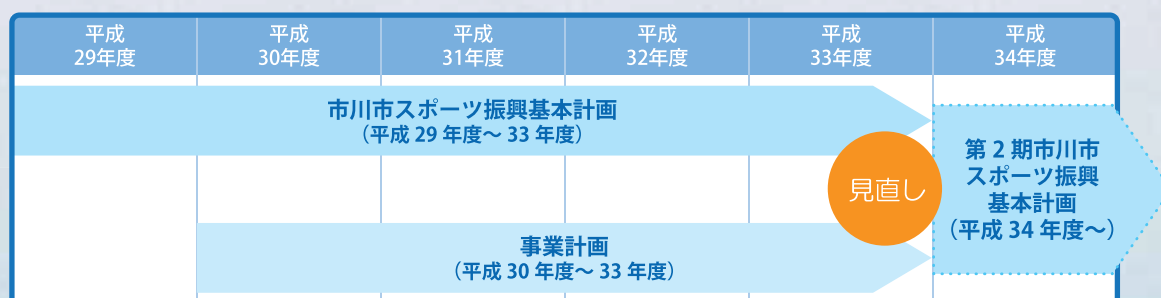
本計画は、国の「スポーツ基本計画」及び県の第 11 次「千葉県体育・スポーツ推進計画」を参照して見直しを行うものです。

市川市総合計画では、施策目標として「スポーツ環境の充実」と設定しており、その目標の実現に向け、本計画に基づき、施策や事業を推進していきます。

計画の期間

本計画は、現行計画の一部見直しを行うとともに、5 年間継続することとし、平成 33 年度までを計画期間とします。

また、スポーツ環境の変化や計画の進捗具合などに対応するため、本計画に基づく事業計画を作成し、具体的な取り組みや目標を明確にし、効率的な推進を図っていきます。



基本理念

「健康で、ふれあい生まれる スポーツのまち、市川」

「健康」、「ふれあい（交流）」をスポーツ振興のキーワードと捉えた基本計画の考えを踏襲し、「健康で、ふれあい生まれるスポーツのまち、市川」を計画の基本理念としています。

計画の基本方針

★ 人づくり

スポーツ振興により、自己実現、生きがいづくり、健全な心身の育成、競技レベルの向上といったことから、市民一人一人の人づくりを目指します。

★ 組織づくり

スポーツ振興により、活動の場の増加や、種目の多様化を支え、人と人との交流を生む組織づくりを目指します。

★ 地域づくり

スポーツ振興により、地域間、世代間交流の促進、コミュニティの活性化や地域イメージの向上といった地域づくりを目指します。

計画の体系

基本
理念

健康で、ふれあい生まれるスポーツのまち、市川

基本
目標

1 ライフステージに応じた生涯スポーツの推進と機会の創出

2 スポーツをする空間・場所の確保、充実

3 スポーツ団体・クラブの育成

4 スポーツを支える人材の育成・確保

5 スポーツの情報の収集・提供

6 スポーツ競技力の強化

基本
施策

(1) スポーツに親しむきっかけづくりの提供

(2) ライフステージに応じたスポーツの推進

(3) 子どもの体力向上と体育の充実

(4) 障がいのある人のスポーツ推進

(1) 公共スポーツ施設の整備

(2) 利用可能な施設、空間の有効活用

(1) 総合型地域スポーツクラブの育成

(2) 既存スポーツ団体・クラブの活性化

(1) スポーツ指導者の育成と確保

(1) スポーツ情報の集約、充実

(2) スポーツや健康の相談窓口の充実

(1) 競技スポーツにふれる機会の提供と活動支援

(2) 競技力強化体制の構築

基本目標1 ライフステージに応じた生涯スポーツの推進と機会の創出

それぞれの体力やライフステージ、技術、興味、目的に応じて、いつでも、どこでも、だれもがいつまでもスポーツを楽しむことができるよう、スポーツイベント・教室等の実施、スポーツプログラムの開発の検討を行います。

基本施策	方 向 性
(1) スポーツに親しむきっかけづくりの提供	- 積極的に多様なメディアを通し情報を発信していきます。 - 市民参加の拡大を図るため、教室内容の周知活動に努めます。 - 市民のニーズを捉え、スポーツを行える機会の提供に努めます。
(2) ライフステージに応じたスポーツの推進	- 健康意識の向上に向けた健康づくりに関する事業との連携を充実させます。 - 短時間でできる運動の周知を行います。 - 年齢や趣向など様々な方を対象としたイベントや教室の実施を行います。
(3) 子どもの体力向上と体育の充実	子どもがいろいろな運動を行うことができる機会を提供します。
(4) 障がいのある人のスポーツ推進	- 障がい者のスポーツを体験する機会を提供します。 - 障がい者スポーツに関する情報発信の充実を進めます。

基本目標2 スポーツをする空間・場所の確保、充実

スポーツ環境やニーズが変化しているなか、行政だけでなく、スポーツ関係団体、学校など様々な主体が連携・協働し、身近な地域でスポーツを楽しむことができる環境を整えていきます。

また、関連計画と整合性を図りながら、スポーツ拠点の整備を検討するとともに、既存施設の積極的な有効活用を図り、身近で気軽にスポーツ活動ができる空間・場所を充実するなど、市民のニーズに応じたスポーツ情報の提供などのスポーツを楽しむ環境づくりを進めます。

基本施策	方 向 性
(1) 公共スポーツ施設の整備	- 北市川運動公園の開園とともに、スポーツセンターの施設率改善に向けた検討を行います。 - 関連計画との整合を図りながら、老朽化した施設について、リニューアルや廃止等を含めた計画を検討していきます。 - 交通アクセスの利便性の向上を図る検討を行います。 - スポーツを観戦する場の整備や機会の確保を検討します。
(2) 利用可能な施設、空間の有効活用	- 学校施設開放について、登録団体の利用状況を精査し、有効に活用できるよう、検討を進めます。 - 身近な場でウォーキングなどに取り組める場を確保します。

基本目標3 スポーツ団体・クラブの育成

地域住民が主体の、いつでも、どこでも、だれもが、いつまでもスポーツを楽しむことのできるシステム「総合型地域スポーツクラブ」の普及・啓発を行うとともに、クラブ創設・運営の支援と育成に取り組みます。

基本施策	方 向 性
(1) 総合型地域スポーツクラブの育成	・総合型地域スポーツクラブの周知を図ります。 ・総合型地域スポーツクラブの運営や指導者の育成を支援します。
(2) 既存スポーツ団体・クラブの活性化	・スポーツ団体・クラブとの協力体制の充実を図ります。 ・スポーツ団体・クラブを初めとした地域の団体、取り組みの支援を進めます。

市内の総合型地域スポーツクラブ		
市川スポーツガーデン 国府台 	市川スポーツガーデン 塩浜 	北市川スポーツクラブ 
実施種目	実施種目	実施種目
卓球 バドミントン バレーボール サッカー テニス バスケットボール エアロビクス ハワイアンフラダンス 太極拳 ランニング教室 チア 健康教室 など	フットサル ソフトバレーボール 卓球 テニス グラウンドゴルフ フォークダンス ピラティス コアストレッチ スポーツチャンバラ ヨガ など	サッカー ラグビー テニス ソフトテニス ウォーキング フットベースボール
会場	会場	会場
市川市スポーツセンター 国府台市民体育館 中国分スポーツ広場 国府台小学校 市川小学校 東京医科歯科大学 他	塩浜市民体育館 青葉少年スポーツ広場 他	北市川運動公園 北方多目的広場 他

基本目標4 スポーツを支える人材の育成・確保

市民が、生涯を通して、自己の能力・適性、興味・関心などに応じ、主体的にスポーツ文化を豊かに享受することのできるスポーツライフを構築するためには、その先導者となるスポーツ指導者の育成・確保が必要になります。

子どもから高齢者、障がい者など様々な市民のスポーツニーズに対応した指導者を育成するとともに、スポーツの推進をコーディネートする人材の育成を進めます。

基本施策		方 向 性
(1)	スポーツ指導者の育成と確保	・市川市公認スポーツ指導者制度やスポーツ推進委員についての周知を図ります。 ・市民の要望に対し適切な指導者の派遣するなど、活躍の場を増やしていきます。 ・十分な資質と能力を備えたスポーツ指導者を育成します。

基本目標5 スポーツの情報の収集・提供

いつでも、どこでも、だれもが、いつまでも楽しむことのできるスポーツや気軽に始められる健康づくりの情報発信を実施し、市民のスポーツ参加意欲を高めます。また、必要としている人に情報が届くよう多様な手段を用いた情報提供に取り組みます。

基本施策		方 向 性
(1)	スポーツ情報の集約、充実	・積極的に多様なメディアを通し情報を発信していきます。 ・関連各課との連携を図り、ホームページの案内における情報の一元化や集約を行います。 ・健康づくりや初心者向けのスポーツ教室に関する幅広い情報提供を行います。
(2)	スポーツや健康の相談窓口の充実	・スポーツや健康の相談窓口の充実を図ります。

基本目標6 スポーツ競技力の強化

全国的なスポーツ大会、県レベルのスポーツ大会への参加を支援し、市レベルのスポーツ大会の開催や関係団体への助成を通して競技スポーツの拡大を図るとともに、ジュニア選手の発掘・育成、指導者の確保・育成、スポーツ環境の整備などにより、スポーツ競技力の強化を図ります。

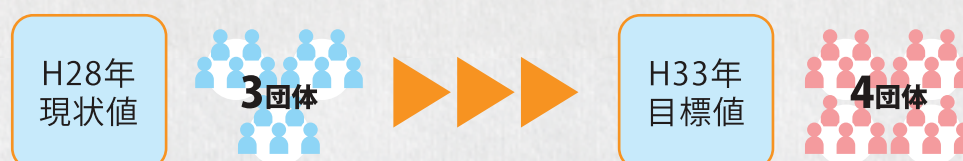
基本施策		方 向 性
(1)	競技スポーツにふれる機会の提供と活動支援	・小中学校体育連盟と連携し選手の育成・競技力の向上に努めます。 ・市体育協会、種目別競技団体等と連携して強化体制を確立し競技水準の向上に努めます。
(2)	競技力強化体制の構築	・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取り組みと合わせて競技力強化体制の検討を行います。 ・学校、企業や、地域スポーツクラブまた各競技団体を総括する体育協会と連携し、小中学生の育成、選手発掘・競技力の向上に努めます。

数値目標

指標① スポーツ実施率（週1回以上）



指標② 総合型地域スポーツクラブの数



指標③ 市民のスポーツクラブ・団体への加入率



指標④ 市公認スポーツ指導者の数



計画の推進体制

関係各課が、市民、スポーツ関連団体、スポーツ指導者、専門家（スポーツ、医療など）、民間企業などと、連携、意見聴取、協力支援の体制を構築し、各施策、具体的な施策を実施していきます。

市川市スポーツ振興基本計画【概要版】 平成29年3月

編集

市川市 文化スポーツ部 スポーツ課
〒272-0827 市川市国府台1丁目6番4号

TEL 047-373-3112
FAX 047-372-4290

■ スポーツ振興基本計画 事業計画の実績報告について

基本目標		基本施策		基本事業		事業内容	主な取組内容の実績（概要）	課題・対応方針等
1	ライフステージに応じた生涯スポーツの推進と機会の創出	(1)	スポーツに親しむきっかけづくりの提供	1	スポーツ情報の効果的な発信	スポーツ関連情報の集約や、w e bサイトの充実などによって、イベントや教室への参加を希望する層に効果的な発信を行っています。	・イベント情報の周知 ・教室・講習会情報の周知 ・関連団体・活動の周知 ・施設情報の収集整理・更新：スポーツ施設、運動できる施設情報や利用案内等の収集・整理を行い、充実したwebページを作成	・わかりやすいwebページ等の作成 ・ スポーツ行政の効果的な情報提供
				2	多様な人に対応したスポーツ習慣のきっかけづくり	未就学児、児童、生徒、成人、子育て層、高齢者、障害者など多様な人を対象として、効果的な情報発信などを行い、自発的にスポーツをする習慣を身につけられるよう普及促進に努めます。	・ラグビートップリーグ観戦ツアーの実施 参加者数136人 ・ラグビーフェスティバルの開催 参加者数624人 ・ いちかわスポーツフェスタ 参加者延べ5,000人 ・体育協会事業費に対する補助 ・市内13地区における軽スポーツ教室の実施 参加者：延3,664人	・利用者層の各ニーズを的確に捉えたイベントや教室内容を検討する
		(2)	ライフステージに応じたスポーツの推進	1	生涯スポーツイベントの充実	現在行われている「みんなでスポーツ」「下総・江戸川ツーデーマーチ」などのイベントや市民スポーツ教室、スポーツ推進委員地区活動などについて、情報発信や活動内容を充実させていくことで、参加者の増加を図ります。	・イベント及び教室の運営費や事業費の負担 ・ いちかわスポーツフェスタの開催（来場者数 約5,000人） ・市川市民元旦マラソン大会 ・市主催事業への協力 参加者：1,241人 （みんなでスポーツ、元旦マラソン、障がい者軽スポーツ等）	・ニーズを的確に捉えたイベントや教室内容を検討する
				2	健康増進イベントの推進	市民の健康意識の向上を図るために、体力測定などを行うイベントの実施や、栄養指導など健康に関するアドバイスなどができる体制の構築を検討します。	・健康スポーツ教室の参加人数増加の検討 ・信篤市民体育館 健康スポーツ教室の実施 延べ6,305人 ・市民プール アクアビクス教室の実施 7月～8月 6回実施 181人 ・健康スポーツ教室の拡充の検討・調整	・ 教室数の拡大と施設調整 ・栄養指導など健康に関するアドバイス体制構築の方向性の検討
				3	高齢者向けのスポーツ教室の実施	健康スポーツ教室などの既存の教室の実施数増加、場所や指導者の確保、市川みんなで体操の地域拡大を行っています。また、市川市公認スポーツ指導者の地域活動の活躍の場として連携できるよう検討を図ります。	・信篤市民体育館 健康スポーツ教室の実施 延べ6,305人 ・介護予防「いきいき健康教室」103教室（地域支えあい課） 筋力トレーニング、ストレッチ、認知症予防トレーニング など 介護予防に関する知識の普及啓発	・教室数の拡大と施設調整 ・他部署の高齢者向け教室との連携 ・指導者の活躍の場との連携
		(3)	子どもの体力向上と体育の充実	1	青少年向けのスポーツ教室の充実	市で既に実施している市民スポーツ教室やコミュニティクラブ事業について、市民のニーズの把握や総合型地域スポーツクラブとの連携などによって、事業の充実を図ります。	・夢の教室の実施 小学校11校28クラス 中学校8校46クラス 特別支援学校1校 ・親子で「夢の教室」の実施	継続的に実施
		(4)	障害のある人のスポーツの推進	1	障害者スポーツの推進	障害者のスポーツイベントや軽スポーツなどを体験する教室を開催します。障害者と健常者が一緒になった取り組みへ展開することともに、w e bサイトを充実させる等情報発信を進め、障害者のスポーツ機会の充実を図ります。また、障害者の視点に立った指導者の育成の推進を図ります。	・障がい者軽スポーツ教室の実施 参加26人 ・パラレクススポーツデーの実施 参加105人	・障がい者参加の拡大方法の検討 ・障がい者分野の関連部署との連携 ・ パラリンピック当該年度における取組の検討
2	スポーツをする空間・場所の確保	(1)	公共スポーツ施設の整備	1	スポーツ施設の新設、再整備	○新規スポーツ施設の整備 ・市川市北東部スポーツタウン基本構想に基づき、既存の市民プールの方向性の検討及び関連整備などと整合性を図り、新規施設の整備を目指します。 ・市民のニーズに対応し、新規施設整備や既存施設の活用を検討を行います。 ○各スポーツ施設の整備	・信篤体育館屋根防水修繕 ・塩浜市民体育館空調設備改修工事 ・福栄スポーツ広場改修工事 ・中国分スポーツ広場解体工事 ・ 国府台公園再整備基本設計の実施	・ 国府台公園再整備基本計画 に基づく施設整備
				2	地域空間の利用・活用	○スポーツ広場等の用地の確保 ・民有地を借り受けて使用しているスポーツ広場等を将来的にも利用できるように、地権者と調整協議し、用地の保持に努めるとともに、既存施設の有効的な活用を検討いたします。 ○国分川調節池上部活用事業	・管理・運営方法等の見直しや改善 スポーツ施設の予約基準の改正（シティセールス事業の予約、北市川運動公園の追加など） ・老朽化施設・設備の改修による環境整備・機能向上 ・運動広場、河川敷、少年広場の管理・環境整備	継続的に実施
		(2)	利用可能な施設、空間の有効活用	1	学校施設の有効活用	学校施設開放のより効率的な運営を目指し、利用状況の見直しや有効的な活用など運用方法や管理体制の検討を行います。また、必要に応じて県立高校等の連携についても、検討していきます。	（開放校） 53校／55校 （開放日）年末年始（12月29日～1月3日）を除く日で 学校教育上支障のない日	継続的に実施
				2	公共スポーツ施設の使いやすさの向上	公共スポーツ施設の運用面の改善を図ります。利用時間、予約方法、設備の備品などの改善を検討し、施設の使いやすさを向上させていきます。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けて、国や県との連携を図り、必要に応じた対応を検討いたします。	・管理・運営方法等の見直しや改善（予約管理など） ・老朽化施設・設備の改修による環境整備・機能向上 ・市民プール管理運営用備品の購入 ・キャンプ場・運動広場管理運営用備品の購入 ・スポーツ施設管理運営用備品の購入	・トレーニング室における 施設利用アプリの新規導入 による手続きの簡略化

基本目標		基本施策		基本事業		事業内容	主な取組内容の実績（概要）	課題・対応方針等
2	スポーツをする空間・場所の確保	(2)	利用可能な施設、空間の有効活用	3	大学や企業のスポーツとの連携	大学や企業のスポーツ施設について、施設概要や利用実態を把握し、効果的な施設利用の拡大を図るとともに、包括協定を結んでいる大学との連携を進めます。また、施設の効果的、効率的な運営体制の検討を行います。	・ラグビーフェスティバルの開催（近隣大学の協力ブース） ・ツデーマーチの開催（和洋女子大学） ・市民スポーツ教室（卓球）講師（千葉商科大学） ・千葉商科大学施設の利用（卓球連盟理事会） ・指導者講習会の健康栄養学講師（和洋女子大学）	・各イベントにおける協力体制の呼びかけ
				4	身近な空間や場所の有効活用	歩いて楽しいウォーキングコースの設定やマップの作成、軽スポーツ等ができる公共施設の空きスペースの探索など、身近な空間や場所の有効活用について検討します。また、気軽に立ち寄れ、スポーツが実施できる施設の整備をや利用機会拡大のための情報発信を進めます。	・管理・運営方法等の見直しや改善（予約管理など） ・老朽化施設・設備の改修による環境整備・機能向上 ・公園の安全性、快適性の向上 ・魅力ある公園として適切な維持管理を実施 ・ウォーキング講座・ウォーキングマップ：希望者へ配布	継続的に実施
				5	子どもの居場所づくりの検討	公共施設や公園、広場などに、子どものためのスポーツ指導者の派遣やスポーツに関連するプログラムの提供などを体系的に行うことにより、子どもがスポーツを楽しめる場所を増やすことを検討します。	・市内13地区における軽スポーツ教室の実施 ・北市川スポーツクラブの活動・運営支援 ・市川スポーツガーデン国府台の活動支援、定期教室やイベント等 ・市川スポーツガーデン塩浜の活動支援、定期教室やイベント等	・ソフト面における関係団体、関係部署との連携 ・子どもが安全・安心に利用できる施設・設備など利用環境の改善を図る
				6	民間スポーツ施設との連携	民間スポーツ施設の利用促進を行うなど連携を図り、市民の健康増進を進めます。	・公民連携事業の検討 北東部スポーツ施設整備事業 対象施設：市民プール	・公民連携手法による施設整備の検討
3	スポーツ団体・クラブの育成	(1)	総合型地域スポーツクラブの育成	1	総合型地域スポーツクラブの育成	既存の総合型地域スポーツクラブでは、地域住民主体のクラブ運営をサポートし、地域・会員相互のコミュニケーションの活性化、会員数の増加、プログラムの充実・向上に向け支援をしています。	・北市川スポーツクラブの活動・運営支援 ・市川スポーツガーデン国府台の活動支援、定期教室やイベント等 ・市川スポーツガーデン塩浜の活動支援、定期教室やイベント等	継続的に実施
				2	総合型地域スポーツクラブの設立	新規クラブ設立に向け、準備を進めるとともに、新規設立クラブが、クラブとして自立し、自主運営できるよう多方面から支援を行います。また、個々のクラブの自主性を尊重しながら、各クラブ相互の関係を強化して、本市の総合型地域スポーツクラブの大きな特徴として育成していきます。	・市中部地区への4つ目のクラブ設立の検討	・ <u>新規クラブの必要性等の検討</u> ・ <u>基本計画の指標や基本事業の方向性の検討</u>
				3	クラブ運営者や指導者の育成	クラブを運営していくスタッフの育成を図ります。またスポーツ指導者の資格保持者や市川市公認スポーツ指導者、スポーツ推進委員などから指導者の発掘を行うことや、クラブ会員を指導者として育成していきます。	・北市川スポーツクラブの活動・運営支援	継続的に実施
		(2)	既存スポーツ団体・クラブの活性化	1	総合型地域スポーツクラブとの連携	総合型地域スポーツクラブと既存スポーツ団体・クラブを連携させ、総合型地域スポーツクラブの充実を目指します。	・クラブ同士の連携・体制づくりのの検討	・ <u>基本事業の方向性の検討</u> ・ <u>具体的な取り組み内容の検討</u>
				2	競技大会の充実、参加の推進	市川市体育協会と各加盟団体による市民体育大会の充実を進める他、県民体育大会等の競技大会への参加を促進します。	・体育協会事業費に対する補助 市川市市民体育大会・加盟団体主催による各種競技大会・千葉県民体育大会に関する選手の派遣 ・市川市少年野球連盟活動費補助金 加盟団体数 83チーム ・市川市女子フットベースボール活動費補助金 加盟団体数 14チーム	継続的に実施
				3	活動拠点の確保の支援	公共スポーツ施設の整備、学校施設開放の有効活用、施設の情報提供等により、活動拠点の確保を支援していきます。	・スポーツ施設の改修工事 ・施設情報の収集整理・更新 スポーツ施設、運動できる施設情報や利用案内等の収集・整理を行い、充実したwebページを作成する ・学校施設開放の実施	・わかりやすいwebページ等の作成 ・ <u>スポーツ行政の効果的な情報提供</u>
				4	部活動と地域の連携	競技レベル向上のために、学校の部活動において、競技レベルの高い学校の指導者や生徒を指導者として地域のクラブに派遣し交流を推進します。また、学校の推薦を受けた地域の指導者を外部指導者として仰ぐ体制を継続していきます。	部活動等地域指導者協力事業の実施 ・指導者の登録・講習会の実施	継続的に実施
				1	市川市公認スポーツ指導者制度の推進	「市川市公認スポーツ指導者制度」を本市の基本的なスポーツ指導者の資格とし、既存スポーツ指導者や新たな人材に資格取得のP Rを行い、スポーツ指導者の発掘・育成を行います。	・市川市公認スポーツ指導者養成講習会の実施 ・（公財）日本体育協会公認スポーツリーダー養成講習会の実施 ・（公財）日本体育協会公認ジュニアスポーツ指導者養成講習会の ・教室・講習会情報の周知	・継続的に実施 ・ <u>指導者増加に関する取組の検討</u>

基本目標		基本施策		基本事業		事業内容	主な取組内容の実績（概要）	課題・対応方針等
4	スポーツを支える人材の育成・確保	(1)	スポーツ指導者の育成と確保	2	活躍の場の確保	スポーツ指導者が、総合型地域スポーツクラブ、学校の課外活動、市のスポーツイベント、教室といった様々なスポーツ振興の場に適切に派遣されるように、指導者の派遣制度を整備するとともにその情報発信を進めていきます。	・学識経験者や指導者と、事業のマッチングの検討	・ <u>基本事業の方向性の検討</u>
				3	生涯スポーツ指導者の育成	だれもが気軽に楽しめる生涯スポーツ、新たなスポーツ種目や軽スポーツなど推進のために、様々な対象者に対応した指導者育成研修会の開催を推進します。	・公認指導者スキルアップ研修会の実施 ・スポーツ推進委員関係研修会への参加	継続的に実施
				4	総合型地域スポーツクラブ中核スタッフの育成	総合型地域スポーツクラブの立ち上げや運営には、経営(マネジメント)や連絡調整(コーディネーション)の能力を持った人材が必要となるため積極的にクラブコーディネーターに関する養成講習会等への参加を促すなど、計画的に発掘・養成を進めていきます。	・北市川スポーツクラブの運営支援 各種スポーツ教室の開催支援・広報活動支援・運営費の補助 定期教室8種 延261回 参加者数3,734人 各種イベント等 延6回 参加者数654人	継続的に実施
				5	スポーツボランティアの発掘・育成・確保	総合型地域スポーツクラブのスタッフやイベント・スポーツ教室の開催には、多くのボランティアとなる人が必要となります。 定期的に講習会を行うなど、市民の意識向上を図り、スポーツボランティアの発掘・育成・確保を促進していきます。	・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に伴う、スポーツボランティアの活用を検討	・オリパラ当該年度における活用の検討 ・ <u>基本事業の方向性の検討</u>
5	スポーツの情報の収集・提供	(1)	スポーツ情報の集約、充実	1	スポーツ関連情報の集約、webサイトの充実	Webサイトの一元化や充実を図り集約した情報を提供していきます。	・イベント情報の周知 ・教室・講習会情報の周知 ・関連団体・活動の周知 ・施設情報の収集整理・更新：スポーツ施設、運動できる施設情報や利用案内等の収集・整理を行い、充実したwebページを作成する	・わかりやすいwebページ等の作成 ・ <u>スポーツ行政の効果的な情報提供</u>
		(2)	スポーツや健康の相談窓口の充実	1	相談窓口の充実	スポーツ、健康、介護予防などスポーツ活動やスポーツを通じた健康づくりに関する市民の様々な相談に対応するため、スポーツ相談の役割を担っている人材、関連部署と連携し、相談窓口の充実を図ります。	指導員の配置・資質の向上 (各体育館のトレーニング室)	・ <u>基本事業の方向性の検討</u> ・関連部署との連携による取組の検討
				2	運動療法や運動処方への展開	市内の医師会と連携をとり病後の運動療法（リハビリ）や、各個人の要望に沿った運動処方の作成などを検討していきます。	・健康管理・運動処方に関するソフト面（アプリ等）の運用の検討	・ <u>基本事業の方向性の検討</u> ・関連部署との連携による取組の検討 ・健康増進アプリ等の構築の検討
6	スポーツ競技力の強化	(1)	競技スポーツに触れる機会の提供と活動支援	1	国内外のスポーツ交流の推進	小中学生を対象に、サッカー、卓球等の海外遠征を行います。 青少年の競技力の強化、見識の広がりを目的としており、今後も継続し支援していきます。	・スポーツ大会派遣参加費用補助金の交付 全国大会 （5団体・個人31人） 関東大会 （3団体・個人17人） ・青少年スポーツ国際交流事業補助金の交付 児童サッカー国際交流事業（ドイツ・ブラジル）	継続的に実施
		(2)	競技力強化体制の構築	1	優れた素質を有する選手（ジュニア選手）の発掘・育成	各競技団体が中・長期的な観点に立って、選手として適正のある者の早期発見と継続的な育成のため、指導体制の向上など総合的な計画を検討します。また、ジュニア期(小中学生)から良質の環境の中で一貫した指導が行われるよう努めます。	・体育協会事業費に対する補助 加盟団体主催による各種競技大会・スポーツ少年団・スポーツ団体等の育成・強化・千葉県民体育大会に関する選手の派遣 ・スポーツ大会派遣参加費用補助金の交付 ・青少年スポーツ国際交流事業補助金の交付	・ <u>競技力向上推進事業</u> を新規に実施し、指導者の資質向上と選手の育成・強化を図る
				2	指導者の養成・確保とスポーツ医・科学の推進	指導者の高齢化や、質的、量的にも指導者が不足しており、市公認スポーツ指導者養成講習会などを通じて指導者の養成・確保に努めます。 また、競技力の向上を目指すために、選手のトレーニングやコーチングにスポーツ医・科学の知識を取り込んだ、より専門的な指導者の養成・確保に努めます。	・市川市公認スポーツ指導者養成講習会の実施 ・（公財）日本体育協会公認スポーツリーダー養成講習会の実施 ・（公財）日本体育協会公認ジュニアスポーツ指導者養成講習会の ・教室・講習会情報の周知 ・公認指導者スキルアップ研修会の実施	継続的に実施
				3	スポーツ拠点施設の整備・充実	市民に高いレベルの競技スポーツを目の当たりに提供するため公式的な大会が開催できる総合的な運動施設の整備・充実を検討します。	・スポーツ施設の改修工事 ・各スポーツ施設管理運営用備品の購入	・国府台公園再整備基本計画に基づく施設整備 ・市内施設の再整備・改修に関する計画の整理
				4	スポーツ関係団体等の整備・強化	スポーツ振興の中核である体育協会の指導・強化体制を整備するとともに、強化主体である競技団体と学校・地域・企業が連携して選手の育成・強化に努めます。	・体育協会事業費に対する補助 市川市市民体育大会・市川市民元旦マラソン大会・加盟団体主催による各種競技大会・スポーツ少年団・スポーツ団体等の育成・強化・千葉県民体育大会に関する選手の派遣 ・スポーツ情報の発信	・関連団体、関連部署との連携強化の取組の検討

■ 国府台公園再整備事業（進捗状況） 野球場設計概要

■ 野球場の設計概要

施設名：国府台公園野球場
場 所：市川市国府台1丁目6番4号
敷地面積：約19,250㎡
建築面積：約3,300㎡
構造規模：鉄筋コンクリート造 3階

整備コンセプト

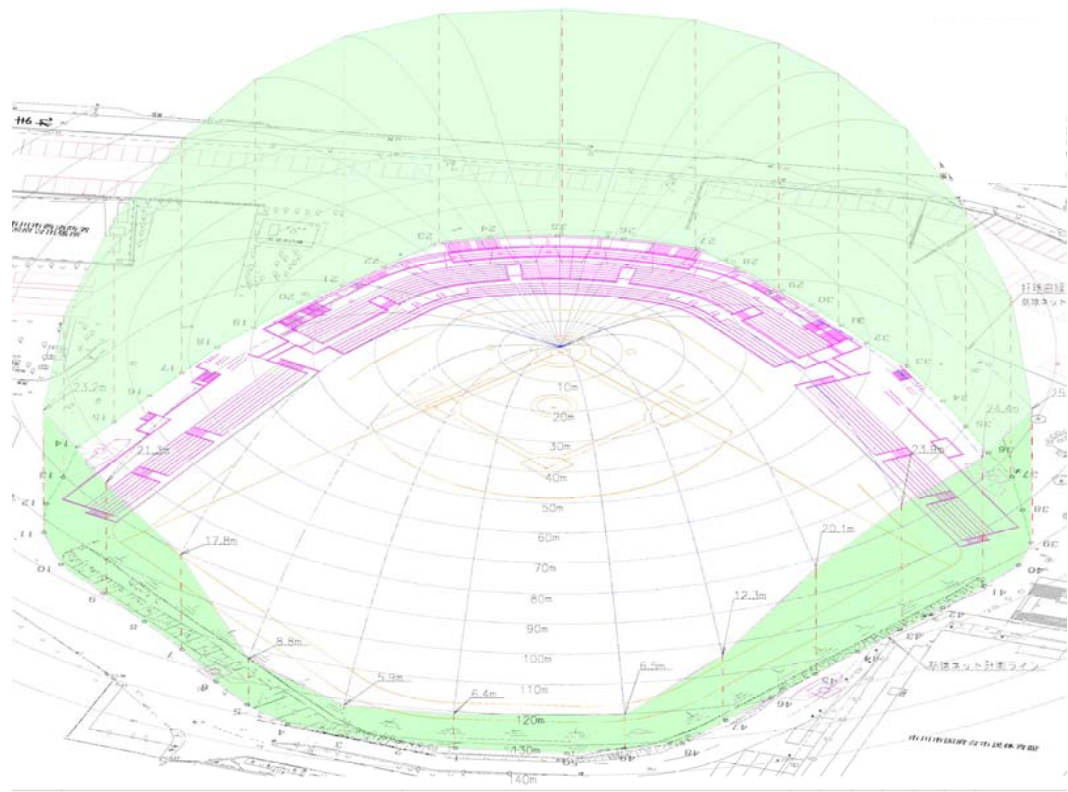
緑豊かな景観や歴史的な地域特性を踏まえ、自然を活かした造りやレンガ調など懐古的（レトロ）な外観とするほか、新技術を活かした先進的なサービスの提供により、市民に親しまれる球場とする。

附帯設備等

- ・夜間照明：LED投光器 6基 （照度） 内野1,000Lx以上、外野750Lx以上
- ・防球ネット：野球場外周に設置 最大高さ45m
- ・人工芝：全面人工芝（雨天後の利用や冬季の整備が不要）
- ・スコアボード：大型フルスクリーン 得点・SBO表示・選手名表示等の機能

事業スケジュール（予定）

令和元年度	5月～：野球場実施設計業務
	1月～：解体工事
令和2年度～3年度	～9月：解体工事
	10月～：新設工事
令和4年度	4月：供用開始予定

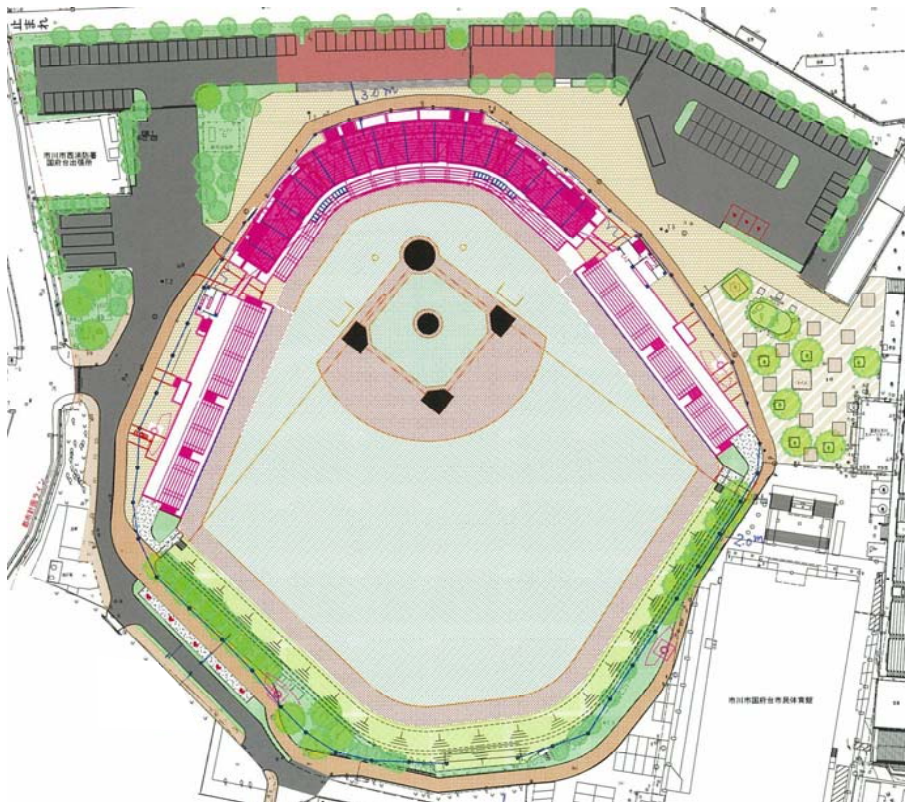


◀ **防球ネット計画**

防球ネットは、プロ野球の球速やバットスピードを踏まえ、野球場外への飛び出しを防ぐ高さを検討しました。その結果、内野スタンド側は最高高さ45mのネットを設置することとし、最大限に安全性に配慮した計画としました。また、ネットの色は、球場の外壁と合わせてブラウン系を使用することとし、景観にも配慮する計画としています。

人工芝・野球場周辺の整備計画 ▶

グラウンド内は、ベース周りやマウンドを除き全面人工芝として計画しています。改修前は、雨天後や冬季の整備期間に利用できない状況ありましたが、長期的な整備等が必要となり、利用機会の拡大を図ります。また、野球場の開設に合わせて、周囲の園路や駐車場等を整備する計画としています。周回路は、ジョギングやウォーキングによる健康づくり、体力づくりを楽しめるようゴムチップ舗装としています。



■ 国府台公園再整備事業（進捗状況） 野球場平面計画

スタンド内諸室の平面計画 ▶

市民球場として利用環境や利便性の向上を図るとともに、協定を締結している千葉ロッテマリーンズの二軍試合（イースタンリーグ）の開催に十分な機能を備えた計画としている。

また、供用スペースや管理区域、選手用の動線が重ならないよう諸室を配置している。

❶ 供用スペース

エントランスホールには、球場利用者や観戦の方が楽しめるよう千葉ロッテマリーンズにおける展示品や、市川市の野球の歴史などを展示するコーナーを設けている。

また、イースタンリーグの観戦など、スタンド内に一般ドリームシートとして特別観戦席を設ける。

❷ チーム・選手用諸室

両塁側（一部メインスタンドを含む）に、ダッグアウト、選手用控室、シャワー室、トイレ、スイングルーム、監督コーチ等の関係者控室などを配置している。

改修前に課題としていた選手用のシャワー室、トイレを配置し、利便性の向上を図っている。

また、プロ野球選手が活躍する球場でプレーできることで、競技力向上を目指す意識など青少年の心身の育成に寄与するものである。

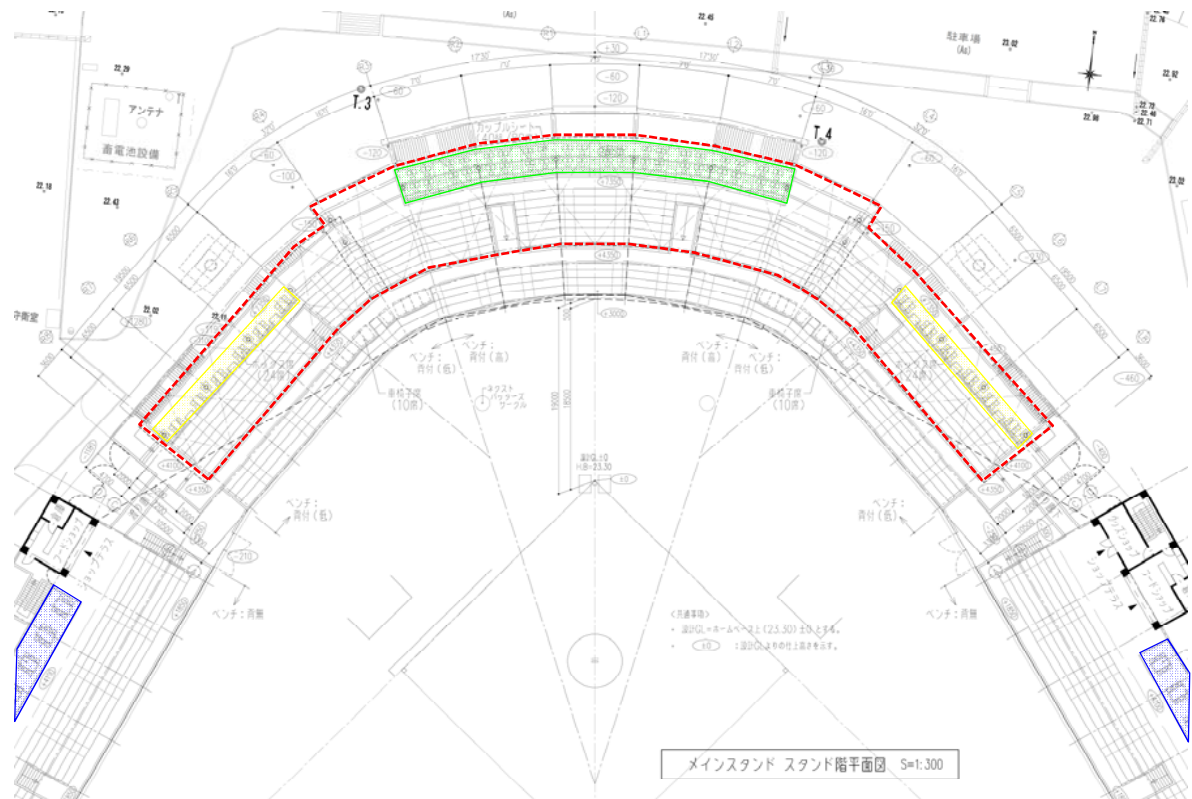
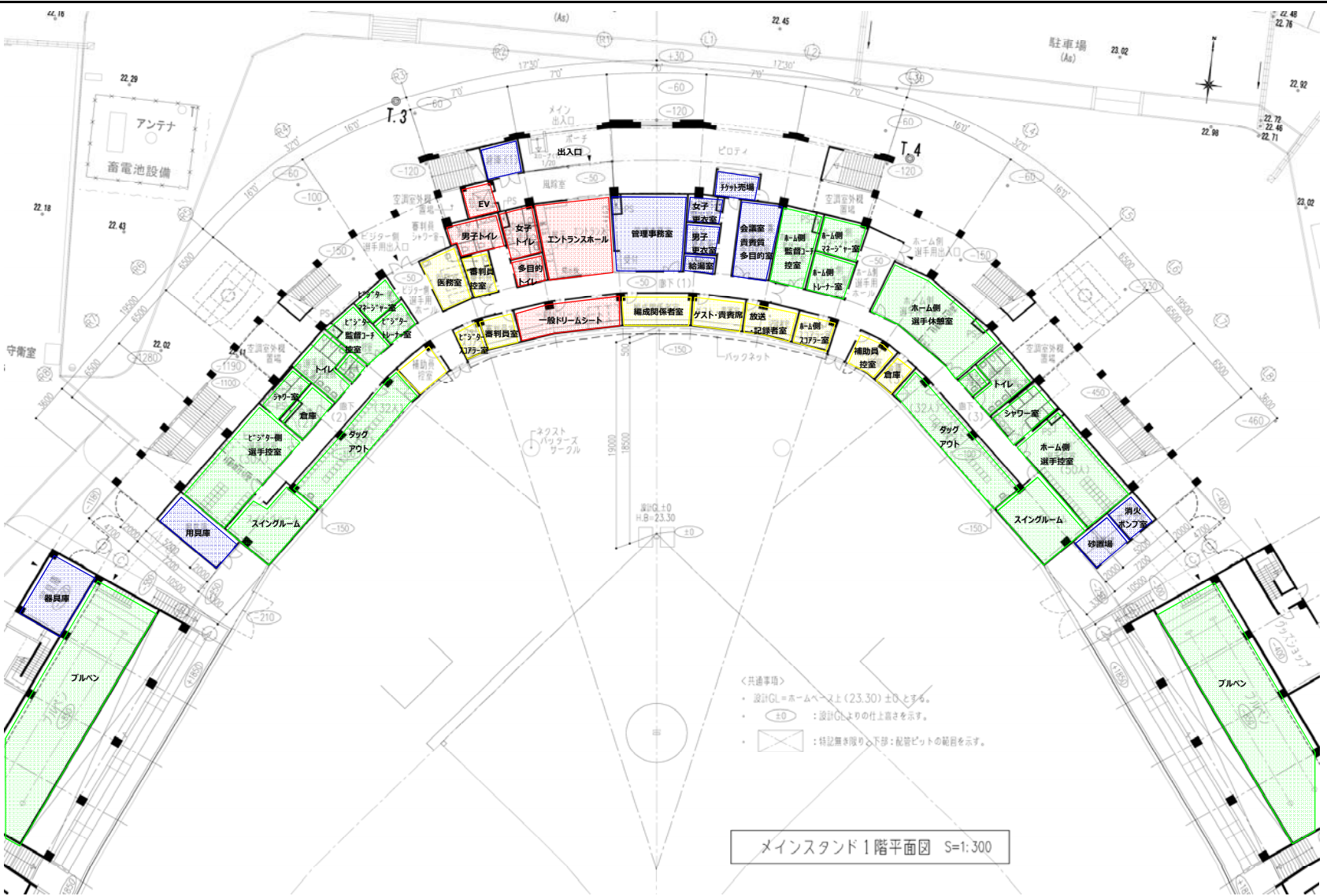
❸ 関係者・運営用諸室

試合関係者用の諸室として、編成者室、スコアラール室、放送・記録者室など、イースタンリーグの試合開催時だけでなく、市民大会や少年野球大会でも活用できる諸室を配置している。

❹ 管理用諸室

将来的に指定管理者制度による管理を実施できるよう管理事務室を配置するほか、会議や控室として多目的に活用できる部屋や、倉庫等を配置している。

また、メインスタンド2階への動線として、エレベータを設置し、車いすの方も試合観戦を楽しめるよう計画している。



◀ 観覧スタンド（全3,166席+外野スタンド）

イースタンリーグ公式戦の開催球場として、観戦者が楽しめるようバラエティに富んだ座席を配置する計画としている。

また、改修前と比較し、スタンド屋根を広く設置し、日除け・雨除けの機能向上を図る。

❶ 座席

改修前の長いすベンチから、多くの方の試合観戦を想定し、全席個別席（一部背付席）として計画している。

- 1) メインスタンド（バックスタンド、1・3塁側内野スタンド）：1,490席（背付席 520席、低背付席 950席、車いす席20席）
- 2) 1・3塁側外野スタンド：背無し席 1,500席
- 3) 外野スタンド：芝生席

❷ ペアシート

バックスタンド上段に、ペアで野球観戦が楽しめるテーブル付きの座席です。40組80席を計画している。

❸ ボックスシート

1・3塁側内野スタンドの上段に、ファミリーやグループで楽しめる4名掛けのボックス席を計画。12組48席（各塁側6組）

❹ テラス席

1・3塁側外野スタンドに、アウトドア感覚で観戦を楽しめる6名掛けのテラス席を計画。

1塁側に5組30席、3塁側に3組18席を配置。

スタンド屋根

<東京2020オリンピック・パラリンピックプロジェクト> <市川市スポーツキャンプ誘致等実行委員会>

【目標1】

ともにスポーツ・文化を楽しみ、世界を感じるまちづくり

【目標2】

市川市に住む人、訪れる人が快適に過ごせるまちづくり

【方針1】 スポーツ・健康づくりの促進

- 「する」「みる」「ささえる」体験事業
- ラグビーフェスティバル
- いちかわスポーツフェスタ
- 本で知るオリンピック・パラリンピック事業



【方針2】 こどもの体験活動の充実

- 多文化共生事業「シェフ先生」
- 夢の教室運営事業
- タグラグビー教室
- アスリート学校訪問促進事業



【方針3】 文化活動の促進と市の情報発信

- 行徳地区の歴史と文化をいかしたまちづくり事業
- 文化施設の整備
- いちかわ ふらり まち歩き事業



【方針4】 国際交流や市民活動の活性化

- ジャポニズム2018「地方の魅力」週間
- アイ・リンク展望施設活性化事業
- 都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト



【方針5】 バリアフリー化や公共サインの整備

- 文化施設サイン等整備事業
- 交通バリアフリー推進事業
- 交通安全施設整備事業



○フェンシング女子各国代表キャンプ

期 間：2018年5月9日～16日
誘 致 国：日本、フランス、ドイツ、アメリカ、
チュニジア、カナダ
来訪者数：47名（内選手は下記のとおり）
日本 9名、フランス 6名、ドイツ 5名、アメリカ 4名、
チュニジア 1名、カナダ 8名



○ブルガリア新体操チーム施設視察

期 間：2018年6月28日～29日
誘 致 国：ブルガリア共和国
来訪者数：29名（内選手12名）



○女子ソフトボールイタリア代表キャンプ

期 間：2018年7月26日～8月1日
誘 致 国：イタリア
来訪者数：27名（内選手17名）



○ゴールボール男子日本代表強化合宿

期 間：2019年3月23日～24日
誘 致 国：日本
来訪者数：19名（内選手9名）



○ブルガリア共和国新体操代表チーム市川市来訪 （小学校訪問・合同演技披露会）

期間：2019年7月16日～18日
誘致国：ブルガリア共和国
来訪者数：27名（内選手15名）



<今後の取り組み>

- おもてなしに関連した事業
- 国際交流に関連する事業
- 聖火リレー等に関連する事業
- 競技放映等に関連する事業
- 試合観戦等に関連する事業
- 子ども向け体験型イベント、民間企業・大学等と連携した事業

など

■令和元年度事業の進捗状況について（個別）

具体的な案件 イベント等		下総・江戸川ツデーマーチ		
主 な 基 本 計 画 の 位 置 づ け	目標	1 ライフステージに応じた生涯スポーツの推進と機会の創出		
	施策	(2) ライフステージに応じたスポーツの推進		
	事業	1 生涯スポーツイベントの充実		
	事業内容	現在行われている「みんなでスポーツ」「下総・江戸川ツデーマーチ」などのイベントや市民スポーツ教室、スポーツ推進委員地区活動などについて、情報発信や活動内容を充実させていくことで、参加者の増加を図ります。		
実 施 事 業 分 類	事業名	スポーツ推進事業		
	事業概要	各種イベント及びスポーツ教室を公益団体（市川市体育協会や総合型地域スポーツクラブなど）と共催し開催します。		
概要・目的		健康や体力づくりを目的として、市川市及び近隣市をコースとしたウォーキングイベント。 併せて、市川市スポーツセンターにおいて、模擬店や地域住民によるステージ発表会を実施。		
取 り 組 み 内 容	実 績	日時	平成31年4月13日（土）・14日（日）	
		場所	市川市スポーツセンター周辺	
		参加人数	3,637人（前年2,886人）	
		実施内容 ・成果 ・写真 など	○実施内容 ・ウォーキングイベント 【1日目】	

■ 令和元年度事業の進捗状況について（個別）

具体的な案件 イベント等		市川エンジョイスports
主 な 基 本 計 画 の 位 置 づ け	目標	1 ライフステージに応じた生涯スポーツの推進と機会の創出
	施策	(2) ライフステージに応じたスポーツの推進
	事業	1 生涯スポーツイベントの充実
	事業内容	現在行われている「みんなでスポーツ」「下総・江戸川ツーデーマーチ」などのイベントや市民スポーツ教室、スポーツ推進委員地区活動などについて、情報発信や活動内容を充実させていくことで、参加者の増加を図ります。
実 施 事 業 分 類	事業名	スポーツ推進委員活動事業
	事業概要	地域住民のニーズを踏まえたスポーツ教室を各地区で実施するとともに、スポーツ推進のためのコーディネーター及び推進役として活動を行います。
概要・目的		誰でも気軽に、簡単に参加することのできる軽スポーツを体験することにより、市民の健康と体力向上を目指し、スポーツや健康に対する関心と意欲を高めてもらうことを目的として実施するもの。
取 り 組 み 内 容	日時	令和元年6月30日（日） 午前10時から午後3時
	場所	市川市スポーツセンター（国府台市民体育館・陸上競技場）※陸上競技場は雨天のため中止
	参加人数	143名（前年125名）
	実績	○実施内容 第1体育館：ミニバレーボール大会・体験、カローリング、ポッチャ、フライングディスク 第2体育館：ヨガ、親子リズム体操、ふうせんバレー、マグネットダーツ 陸上競技場：雨天のため中止 市川市スポーツ推進委員48名 ○写真
	・実施内容 ・成果 ・写真 など	ミニバレーボール大会 ヨガ体験
効果や課題など		参加者の確保
今後の対応・方向性など		・イベント内容・運営方法の検討 ・イベントの周知方法の見直し

■ 令和元年度事業の進捗状況について（個別）

具体的な案件 イベント等		いちかわスポーツフェスタ
主 な 基 本 計 画 の 位 置 づ け	目標	1 ライフステージに応じた生涯スポーツの推進と機会の創出
	施策	(1) スポーツに親しむきっかけづくりの提供
	事業	2 多様な人に対応したスポーツ習慣のきっかけづくり
	事業内容	未就学児、児童、生徒、成人、子育て層、高齢者、障害者など多様な人を対象として、効果的な情報発信を行い、自発的にスポーツをする主幹を身につけられるよう普及促進に努めます。
実 施 事 業 分 類	事業名	オリンピック・パラリンピック関連事業
	事業概要	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に際し、これまで行われてきた「する」スポーツだけでなく、「みる」、「ささえる」スポーツの側面から、スポーツへの興味関心の向上、機運の醸成を図ります。また、J:COM北市川スポーツパーク等を活用し、地域を巻き込みながら、トップアスリートを招いてのスポーツ体験など、子どもから高齢者まで楽しめるイベントの開催を行う。
概要・目的		・J:COM北市川スポーツパークの周知 ・2020年東京オリンピック・パラリンピックへの機運醸成 ・スポーツを通じた地域の活性化
取 り 組 み 内 容	日時	令和元年10月14日（月・祝）9時30分から16時まで
	場所	J:COM北市川スポーツパーク
	参加人数	約3,000人（前回延べ5,000人）
	実績	○実施内容（雨天のため途中中断あり） ①トップアスリートによるスポーツ教室 テニス・ソフトテニス・ベースボールチャレンジ（千葉ロッテマリーンズ）・陸上競技 ②各種スポーツ体験会 車イステニス・スポーツクライミング・スケートボード・北市川スポーツクラブの種目体験・市川市スポーツ推進委員連絡協議会による軽スポーツ体験 ③ステージイベント トップアスリートのトークショー・その場でできる運動神経向上のための体操・チアパフォーマンス・各種住民発表 ④模擬店やふわふわ遊具の設置
	・実施内容 ・成果 ・写真 など	○写真
		  
効果や課題など		・駐車場の確保 ・今後のイベントの在り方 ・オリンピック開催年として、内容や開催日等の検討
今後の対応・方向性など		・イベント内容の検討 ・来年度も市主導で実施予定だが、将来的には地域で開催できるように取り組んでいく。

■ 令和元年度事業の進捗状況について（個別）

具体的な案件 イベント等		ファミリーデイキャンプ
主 な 基 本 計 画 の 位 置 づ け	目標	1 ライフステージに応じた生涯スポーツの推進と機会の創出
	施策	(2) ライフステージに応じたスポーツの推進
	事業	1 生涯スポーツイベントの充実
	事業内容	現在行われている「みんなでスポーツ」「下総・江戸川ツーデーマーチ」などのイベントや市民スポーツ教室、スポーツ推進委員地区活動などについて、情報発信や活動内容を充実させていくことで、参加者の増加を図ります。
実 施 事 業 分 類	事業名	市民スポーツ振興事業
	事業概要	市民が各種スポーツや軽スポーツ、レクリエーションの体験を通じて、健康保持、増進意欲及び活動意識の向上を図り、スポーツ実施率の向上を図ります。
概要・目的		家族で豊かな自然とふれあいながら、テント設営や飯盒炊爨（はんごうすいさん）、レクリエーション等の日常生活とは違う体験を通して、野外活動の素晴らしさや楽しさを体感してもらう事を目的として実施するもの。
取 り 組 み 内 容	日時	令和元年6月9日（日）・7月14日（日）※雨天中止・9月8日（日）
	場所	市民キャンプ場
	参加人数	71人 ※7月14日は雨天のため中止（前回 105人）
	実績	○実施内容 ファミリーを対象として、市川市スポーツ推進委員の指導のもと、キャンプ初心者向けのデイキャンプを実施。 ・テント設営 ・薪割り ・火おこし ・飯盒炊爨、カレー作り ・レクリエーション ○写真
	・実施内容 ・成果 ・写真 など	   火おこし テント設営 ブーメラン作り
効果や課題など		火おこしや飯盒炊爨など、日常では経験できない体験を楽しんでもらい、野外活動の素晴らしさを体感してもらうと共に、市民キャンプ場の周知を図るもの。
今後の対応・方向性など		今後も継続して実施予定

■ 令和元年度事業の進捗状況について（個別）

具体的な案件 イベント等		みんなでスポーツ
主 な 基 本 計 画 の 位 置 づ け	目標	1 ライフステージに応じた生涯スポーツの推進と機会の創出
	施策	(2) ライフステージに応じたスポーツの推進
	事業	1 生涯スポーツイベントの充実
	事業内容	現在行われている「みんなでスポーツ」「下総・江戸川ツーデーマーチ」などのイベントや市民スポーツ教室、スポーツ推進委員地区活動などについて、情報発信や活動内容を充実させていくことで、参加者の増加を図ります。
実 施 事 業 分 類	事業名	市民スポーツ振興事業
	事業概要	市民が各種スポーツや軽スポーツ、レクリエーションの体験を通じて、健康保持、増進意欲及び活動意識の向上を図り、スポーツ実施率の向上を図ります。
概要・目的		市川市スポーツセンターを会場に市民の健康・体力づくりを目指し、各種軽スポーツの体験と体力・運動能力調査（新体力テスト）による体力年齢測定等を実施するもの。
取 り 組 み 内 容	日時	令和元年10月27日（日）午前10時から午後3時まで
	場所	市川市スポーツセンター（国府台市民体育館・陸上競技場）
	参加人数	167名（前年度203名）
	実績	○実施内容 第1体育館：ミニバレーボール、カローリング、ポッチャ 第2体育館：新体力テスト 陸上競技場：陸上記録会(100m走・50m走・走幅跳・ソフトボール投げ)、フットサル 協力：市川市スポーツ推進委員49名 ○写真
	・実施内容 ・成果 ・写真 など	新体力テスト（長座体前屈） フットサル
効果や課題など		参加者の確保
今後の対応・方向性など		・イベント内容・運営方法の検討 ・イベントの周知方法の見直し